

第6回 (仮称) 都心部まちづくりプラン策定懇談会 議事録

1 日時 令和6年2月9日(金) 午前10時30分から午後0時00分まで

2 場所 宇都宮市役所 14階 14大会議室

3 出席委員

学識経験者	大森 宣暁	委員	渡邊 美樹	委員					
関係団体	高橋 功	委員	平手 義章	委員	鈴木 孝弘	委員			
	齋藤 高藏	委員	檜山 昌彦	委員	齋藤 公則	委員			
	宮本 隆昌	委員	栗原 伸一	委員	増田 良二	委員			
	小島 弘義	委員	松岡 明直	委員	塚田 栄一	委員			
	成澤 哲夫	委員							
交通事業者	越野 晴秀	委員	吉田 元	委員	近藤 基了	委員			
	鉢村 敏雄	委員							
行政機関	横尾 元央	委員	石崎 浩	委員					
市民公募	高岡 耕子	委員	佐藤 雅哉	委員					

※ 望月 明彦 委員 小関 裕之 委員 中尾 正俊 委員
 笹沼 政行 委員 大澤 賢吾 委員 手塚 美志子 委員
 は所用により欠席

事務局 都市整備部 高橋部長, 手塚次長
 NCC推進課 上田課長, 原口課長補佐(進行)
 NCC推進課 都心部まちづくり推進室 松井室長
 市街地整備課 石川課長 山崎課長補佐
 市街地整備課再開発室 石澤室長

4 会議経過

(1) 開会

(2) 会長挨拶

会 長	本日は、大変お忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。 本懇談会も、約2年に渡り、「都心部まちづくりビジョン」の実行計画として、人中心のウォーカブルなまちづくりなどを総合的に推進する「(仮称) 都心部まちづくりプラン」について、検討を重ねてきたところであります。 前回の懇談会でプラン素案がまとまり、幅広く市民などから素案について意見をいただく『パブリックコメント』を事務局で実施したところでありますが、都心部のまちづくりに向けた、多くの提案などの声をいただいたと伺っております。
-----	--

	本日は、パブリックコメントの結果として、意見の概要とプラン取りまとめへの対応の方向性について、事務局から説明がありますので、忌憚のないご意見をいただければと思います。 どうぞよろしくお願いいたします。
--	--

(3) (仮称) 都心部まちづくりプラン（素案）に関するパブリックコメントの結果について
事務局から資料1に基づき説明

会 長	ありがとうございます。 事務局からは、パブリックコメントの結果について、説明がありました。 皆様からご意見を伺う前に、今回でプランが取りまとめられるということで、本日欠席となっておりますが、望月委員からコメントをいただいておりますので、事務局から述べていただきたいと思います。
事務局	事務局から望月委員からいただいたご意見をご披露させていただきます。
事務局	パブリックコメントで寄せられた意見から、市民や事業者などが、都心部における将来のまちづくりに、高い関心や期待を持たれていることが伺え、非常に良い結果と感じたところであります。 これらの意見に対する、市の対応の方向性については、概ね良いものと思います。 プランの策定・公表に向けては、プランの考え方などを、市民や事業者などに分かりやすく伝えるよう、専門的な用語や事業の名称などについて、注釈や用語集を付けるなどの工夫をしていただき、取りまとめてもらえればと考えております。 今後は、プランに基づくまちづくりを、官民が一体となって推進していただくことを期待しております。
会 長	ありがとうございました。 望月委員のご意見を受けて、事務局から発言ありますか。
事務局	都心部における将来のまちづくりについては、都心部が歴史・文化・経済の中心として、本市の発展を牽引してきた重要なエリアであることから、市民や事業者の方々と、まちづくりの議論を重ねながら、ビジョンやプランの策定などに取り組んでまいりました。 こうした取り組みもあり、望月委員の意見にもありましたが、これまで以上に市民や事業者の方々のまちづくりへの関心や期待が高まっていると感じているところであります。

	今後は、プランに基づくまちづくりの推進について、パブリックコメントでいただいた意見も参考にしながら、多くの関係者と、より丁寧にまちづくりの議論を深め、取り組んでいきたいと考えております。
委 員	6 ページの分類①の中にスピードハンプについて記載されていますが、これは歩道がない道路や路側帯しかない道路への設置も可能なのでしょうか。
事務局	スピードハンプを設置については、地元の皆様や警察との協議が必要であり、どこでも使えるというわけではないですが、今後まちづくりを進めていくにあたり、こういった考えも取り入れながら、関係者の皆様と意見交換をしていきたいと考えております。
委 員	今回プランが策定され、都心部のまちづくりを推進していくにあたり、東武宇都宮駅周辺は、中心市街地にとって非常に重要な場所であると考えております。 今回、委員の皆さんで議論したプランのエリアが、今後の都心部の賑わいを保っていくことや、宇都宮市全体の発展に重要なことであると考えております。 このプランをベースにして、行政や地元の方々と連携しながら、おおむね 2030 年頃のプランの目標年次に向けて、どんなことができるか考えていきたいです。
委 員	今回のプランと、まちなかで行われる市街地再開発事業や L R T の計画などと整合を図りながらまちづくりを進めていくことが重要であると考えていますが、今後の進め方についてはどのように考えているのでしょうか。
事務局	ビジョンやプランについては、駅西側へのライトライン延伸を見据えたまちづくりを推進していくこととしており、こうしたまちづくりの推進にあたっては、まちづくりとライトラインの関係は切っても切り離せないものであることから、今後、関係者の皆様と議論を重ねながら、ライトラインと一体なって、都心部のまちづくりを推進していきたいと考えております。
委 員	今回のプランについては、都市整備部が所管となって策定しましたが、ウォーカブル、居心地が良い空間形成といったまちづくりを進めていくためには、建設部、総合政策部、経済部など、関係部署との連携が重要であると考えており、地元商店街については、経済部の商工振興課と定期的に意見交換を行っております。

	今後の都心部まちづくりの推進にあたり、関係部署との連携を強化してほしいと思います。
事務局	都心部のまちづくりについては、本市における大きな政策であり、中心商業地の活性化や交通など、庁内の多くの部署が関係することから、現在も様々な部門と情報共有を十分に行いながら進めておりますが、今後、より一層連携を強化し、都心部まちづくりに取り組んでいきたいと思ひます。
委 員	今後L R Tの西側延伸や、市街地再開発事業が進んでいきますが、まちなかに住む者としては、買い物など日常生活に必要な店舗等が限られている中、市街地再開発事業等が行われることで、商業施設の建て替え期間中は、現在ある店舗等の機能が失われ、不便になってしまうのではないかと心配しています。 商業施設の建て替えなど、機能更新を行う間、まちなかの住民の生活を担保することができるのか、現状の考えがあれば伺いたひです。
事務局	現在、まちづくりについては、立地適正化計画等において、買い物や生活利便施設など、様々なまちの機能の誘導を図っております。 こうした日常生活に必要なまちの機能誘導を図りながら、市街地再開発事業等を進めていくことで、まちなかの住民の皆様が不便にならないよう、都心部まちづくりを推進していきたいと考えております。
委 員	駅西側へのL R Tの整備は2030年台前半を目指していますが、プランのスケジュールについて可能な範囲で教えてほしいです。
事務局	ライトラインにつきましては、2030年代前半の開業を目指すと公表しております。 本プランにつきましては、2030年頃を目途として、取り組みを進めてまいります。
委 員	今回、都心部まちづくりプランにおいて、指標・目標が示されたことや、今後のJ R 宇都宮駅西口の整備計画やL R Tの整備など、様々な事業が進むことで、具体的なまちの姿が見えてくることから、これまで以上に行政、地元の皆様、各種団体が連携し、丁寧に都心部のまちづくりに取り組むことが必要です。 プランの推進については、資料の19ページにもあるとおり、街なかの多くの関係者が役割を担いながら、一体となってまちづくりに取り組んでいく必要がありますので、今後とも、情報共有を図りながら、まちづくりに協力していきたいと考えております。

委 員	本日まで懇談会で意見交換を重ね、素晴らしいプランとなったため、ひとつずつ、着実に進めてほしいです。 これまで懇談会の中で、ゴミステーションや空き家など、細かな現場の課題等について意見をさせてもらいました。こうした細かな課題についても、これを機会に考えてほしいです。
委 員	現在、市は規制緩和等による開発誘導をしていると思いますが、デベロッパーとしては、規模の大きい建物を建てることで利益も多くなることから、まちなかに分譲マンションが多く建てられています。 分譲マンションを購入する人は、投資や節税などの目的で購入する場合もあると考えられ、そうした部屋が空室となることで、まちなかの居住者の増加につながらなくなってしまうのではないかと心配していますが、空室率などを調査し、今後の取組を考える必要があるのではないのでしょうか。
事務局	マンションの居住の状況等について、行政として可能な範囲で把握に努めていくとともに、多様な街の機能や居住性など、まちなかの利便性を高めることで、居住者の増加、確保につながるよう施策を展開していくことを考えております。
委 員	旧一条中学校跡地に大型のスーパーが来年5月に出店予定であり、現在工事中であります。こうした事業についても加味され、本プランができていくという認識でよろしいのでしょうか。 また、資料の16ページにある、宇都宮西口周辺地区整備について、「第25回まちづくり・都市デザイン競技」で国土交通大臣賞を受賞したとありますが、この詳細について、資料やホームページなど一般に閲覧できるものはあるのでしょうか。
事務局	ご質問のあった今後整備されるスーパーなどの施設についても加味したうえで、本プラン策定後、地元の皆様と意見交換を行いながら、具体的な各エリアのまちづくりを進めていきたいと考えております。 また、「第25回まちづくり・都市デザイン競技」の詳細については、公益財団法人 都市づくりパブリックセンターのホームページで確認することができます。
委 員	都心部まちづくりについては、住人や来訪者など多様な人々に関わることとなり、郊外の開発と比べ、より細やかな調整等が必要になってくると思われます。 今後、具体的な政策に落とし込んでいく際には、きめ細かく地元の方と意見交換を行いながら進めていく必要があります。

	こうしたプランができることで、多くの民間事業者の開発に対し、市のまちづくりを伝えられるツールとして活用してほしいです。
会 長	一点確認ですが、プランの概要版の 23 ページにあるステップについて、ステップ 1 の 1 年目というのは、来年度という認識でよろしいでしょうか。
事務局	来年度を意味しております。
会 長	ある程度、皆様からご意見をいただいたようですので、本日の議事を終わりたいと思います。 パブリックコメントの結果については、本日の意見を参考に、事務局で回答を整理していただければと思います。 また、プランの取りまとめについても、パブリックコメントのご意見を踏まえながら、取りまとめていただければと思います。

(4) その他

事務局より、計画の策定・公表は 2 月末を予定しており、策定公表後、委員に書面等で改めて連絡をする旨を説明

会 長	以上で本日の議題等については、すべて終了いたしました。 円滑な進行にご協力いただき、ありがとうございました。
会 長	ここで、懇談会会長として一言述べさせていただければと思います。 私は、令和元年に、L R T を基軸とした公共交通と一体となったまちづくりを検討するため、「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会」の専門部会として「L R T まちづくり部会」が設置され、その部会長を任せられたことをきっかけに、「都心部まちづくりビジョン」の策定から関わらせていただいております。 その後、ビジョン策定にたずさわられた方々に、地元の代表の方などを迎えまして、プラン策定懇談会が設置され、改めて会長という役をいただき、皆様と意見交換や議論を重ねながら、将来のまちづくりのプラン策定に携われたことは、非常に良い経験となりました。 こうしたプランの検討を通じて、地元のまちづくり協議会や、まちづくりに関係する団体、交通事業者など、様々な立場から、宇都宮の都心部を、我々の手で素晴らしい空間にしていこうという思いが、このプランにはこめられたと感じており、こうしたことから実効性のある計画が取りまとめられたと、大変喜ばしく思っております。 今後は、このように集まった我々も含め、多くの関係者が一丸となり、プランを推進できるよう、引き続きご協力いただくことを願います。

	るとともに，これまでの懇談会の検討にご協力いただきましたことに， 御礼申し上げます。
--	---

(5) 事務局謝辞

(6) 閉会